

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35202	中国語会話1 Chinese Conversation I	邱 靖媚	専門	1	選択	1・2年 前期
科目の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・発音記号(PINYIN)と声調(四声)の練習(8句の三字経節録)から中国語が始まります。 ・中華圏文化と社会に触れながら授業を進めて行くつもりです。 中国及び世界の華人社会、文化、習慣などを理解しようというきっかけになります。 						
学修内容			到達目標			
① PINYIN の仕方、四声の区別と漢字の認識 ② シチュエーションによって挨拶 ③ 発音記号 PINYIN により朗読 ④ 基本文型により作文できる ⑤ 自分の作文を発表する			① PINYIN の仕方と四声をマスターします。 ② 簡単な挨拶ができるようにします。 ③ 8句の三字経節録を朗読できるよう ④ 「自己紹介」の文章を5センテンスを作成。 ⑤ 「発表」ができるようにします。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業を通して、練習方法を見つけます。そして受け身ではなく、積極的な授業参加により自ら通常点を獲得できます。				
	働きかけ力					
	実行力	目標を達成するために、間違いを恐れず、練習のプランを立て、行動します。				
考え抜く力	課題発見力	自らの会話力を冷静に判断し、仲間と一緒に練習し、改善します。				
	計画力					
	創造力	練習の方法、習慣により、言葉の新しい表現が生まれ、目標を達成します。				
チームで働く力	発信力	常に口をあけて練習し、会話力を身に付けます。				
	傾聴力	教員とともに仲間のアドバイスを聞き取るようにします。				
	柔軟性					
	状況把握力	シチュエーションを想像し、会話するために役分担の練習により、自分と他人ができることを的確把握します。				
	規律性	授業中人に迷惑を掛けた時に、適切な態度、行動を取り、あるべき心構えとマナーを守ります。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 使用しません。授業毎にプリントを配布します。発音の仕方、中国、日本、そして台湾漢字の相違、基本文法の例文と宿題(練習問題)をノートに書くことが望ましいと思います。 参考文献: なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: なし						
科目との関連: なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
外国語はコミュニケーションのツールの一つしか過ないのですが、ツールが多ければ多いほど、友達との楽しみが増えますし、理解も深まります。			間違いを恐れず、口を開けて、声を出して、先生、クラスの仲間達と一緒に練習しながら、自分にとって最良な学習方法を見つけましょう。 できれば一人ではなく、二人一緒に着席してください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	70	①	✓	漢字、発音記号と文法を正確に表現する。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓	声の大きさ、発音、声調と言葉表現の正確さ。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性)間違いを恐れず、積極的に声を出して練習することができる。 (実行力)目標を達成するために、練習を中心とした学修プランを立て、実行することができる。 (課題発見力)自らの会話力を冷静に判断し、改善することができる。 (創造性)自分にとって最良の練習方法を見つけ、練習することができる。 (発信力)常に口をあけて練習し、その成果を示すことができる。 (傾聴力)教員とともに、仲間のアドバイスを聞き取ることができる。 (規律性)大学生らしく、教室のマナーを守る
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他		①		テキストを使用しませんので、プリント配布する。 講義一回分、プリント一枚程度の学習です。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
①積極的に授業に参加し、 ②自己紹介の発表、三字経の朗読(声の大きさ、発音と四声正しく)、 ③筆記試験の判断。	①積極的に授業に参加し、 ②自己紹介の発表、三字経の朗読(声、発音と四声)、③筆記試験の判断。

週	学修内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	地理、文化、習慣(衣食住)から導入、中国語の子音、母音と声調をスタートし、関連ある単語を練習します。	講義と演習	授業ルールを守る、大学生らしく授業に参加する。	(復習) 発音の練習をする。	45	規律性
2週 /	発音と声調の組み合わせを実習するために、8句の「三字経」を導入し、短い会話を練習します。	講義と演習	授業ルールを守る、大学生らしく授業に参加する。	(復習) 発音の復習と声調の練習をする。	45	主体性
3週 /	基本文型 S+V+O を導入 人称代名詞 「あなたは日本人ですか」 「私は日本人です」「私は先生ではありません」	講義と演習	授業ルールを守る、大学生らしく授業に参加する。	(復習) 「1人○は～です。」、 「人○は～ではありません。」を練習する。	45	創造力
4週 /	人称代名詞の代わりに 指示代名詞 の導入 「これはなんですか」 「これはコーヒーです」、「あれは紅茶です」	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「2これ△は～です。」、 「それ、あれ△は～です。」を練習する。	45	状況把握力
5週 /	動詞(来, 去, 买)の導入から、所有を表す(有)、と省略疑問の(呢)などの言葉を入れ替え	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「3 場所 へ行きます。」、 「 モノ を買います。」を練習する。	45	実行力
6週 /	1～3の復習(今まで何を習得できた)	プリント対応 講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 中間復習1	45	状況把握力
7週 /	数える時使う 量詞 と 形容詞 を導入しながら、量詞と形容詞の文を強化し、作文で練習します。「一つおいぐらですか」	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「4 <input type="checkbox"/> はおいくらですか?」を練習する。	45	創造力
8週 /	数字と時刻の表現を導入+ 疑問詞 の「いつ?」を加えます。	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「5 <input type="checkbox"/> 空いていますか?」を練習する。	45	創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	達成レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	動詞完了と所在を表す表現を導入します。「映画を見ましたか」「食事を済みました」	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「6 □をしましたか？」を練習する。	45	創造力
10週 /	自己紹介の作文の骨組みを作成し始めます。相手に何を伝えたい？ポイントを考える	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「6 例文：你吃饭了吗？」を練習する。	45	実行力
11週 /	存在を表す(有)と距離を表す(离)の導入しながら、例文で練習します。	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「7 お家は何人家族ですか？」を練習する。	45	状況把握力
12週 /	自己紹介の作文の完成。「お家は何人家族ですか」「私は一人っ子です」	講義と演習	授業ルールを守る、授業に参加する。	(復習) 「7 例文：你家有几口人？」を練習する。	45	状況把握力
13週 /	4～7のポイント復習 訂正と質問	プリント対応 講義と演習	授業ルールを守る、授業参加すること。	(復習) 中間復習2	45	状況把握力
14週 /	練習してきた自己紹介を中国語で披露します。	講義と演習	授業ルールを守る、授業参加すること。	(復習・予習) 自己紹介の発表の準備を行う。	45	実行力
15週 /	1～7期末試験に向かって復習と準備	プリント対応	授業ルールを守る、授業参加すること。	(復習・予習) 期末試験の準備をする。	45	規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力